

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2006～2009

課題番号：18203006

研究課題名（和文） 先端的医療・医学研究の実体法規制に関する包括的研究

研究課題名（英文） Integrated studies on legal regulations of medical treatments and medical researches

研究代表者

水野 紀子（MIZUNO NORIKO）

東北大学・大学院法学研究科・教授

研究者番号：40114665

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：法学・新領域法学

キーワード：医事法、医療倫理、先端的医療、生殖補助医療、医療契約、医療過誤、ヒト試料の利用規制

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、先端的医療・医学研究の実施に際して、患者・被験者等の利益を保護し、生命倫理の観点から逸脱した行動を規制しつつ、適正な範囲での先端的医療・医学研究の発展を可能にすべく、その法的規律を明確化することにある。そのための具体的分析手法として、本研究では個別的アプローチではなく一般的アプローチを採用し、あくまで一般法理論との関連において問題状況进行分析・検討した上で、医事法領域に広い射程を有しうる法理論を展開しつつ具体的解決を模索する。また実定法学はあくまで現実に発生する諸問題の解決に向けた具体的指針を提供しうる点にこそ社会的有用性が存するのであるから、一般的アプローチの前提となる具体的な問題状況の分析をも行う。

2. 研究の進捗状況

医療水準の急速な発展に伴って、臓器移植・脳死・遺伝子治療・人工生殖等の是非と限界について、生命倫理領域の難問は多岐にわたり、また続々と発生している。これらの問題を扱う論文は、哲学・倫理学・社会学・フェミニズムなどの立場まで、百花繚乱の議論状況であるが、法学の立場からの議論は十分ではない。しかしたとえ暫定的なものにせよ現実に答えを出すのは、法学の役割である。本研究のメンバーは、生殖補助医療における諸問題、ヒト資料の利用問題、医療過誤訴訟の諸問題などについて、論文という活字媒体のみならず、審議会などにおけるガイドライン作成等において、過去3年間、これらの領

域における法的問題解決の主導的な役割を果たしてきた。たとえば生命・倫理安全部会でのES細胞指針の審議、生殖補助医療研究専門委員会、ヒト胚研究に関する専門委員会、代理懐胎をめぐる日本学術会議の審議などに関与している。またこの間に下された最高裁判例においては、凍結精子による死後懐胎ケースにつき水野紀子が、代理懐胎ケースにつき早川眞一郎がそれぞれ高裁評釈をしており、それらの評釈が最高裁判決に与えた影響は明らかである。

また研究論文においても、先端的医療・医学研究の実施に際して、患者・被験者等の利益を保護し、生命倫理の観点から逸脱した行動を規制しつつ、適正な範囲での発展を可能にすべく、その法的規律を明確化する成果をあげている。あくまで一般法理論との関連において問題状況进行分析・検討した上で、医事法領域に広い射程を有しうる法理論を展開しつつ具体的解決を模索する方針は、それぞれのメンバーの成果において貫かれている。たとえば米村滋人の生体試料をめぐる諸論文は、民法の所有権体系や契約法との整合性を意識した発展性のある研究であり、医療過誤の損害賠償に関して憲法との関係においても「制度化コスト」概念の提唱によって体系的な構築を試みる業績も特筆される。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

個別問題についての研究業績は大きな成果を上げており、それらの業績において一般的アプローチを前提に解決が模索されてい

るが、統一的な一般的アプローチ全体を提言することは今年度の課題である。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度に当たる今年度は、これまでの研究をまとめる大規模なシンポジウム開催を予定しているほか、メンバーの総力を挙げた医事法体系書執筆を推進する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 112 件)

- ① 米村滋人、医療に関する基本権規範と私法規範、法学セミナー、53 巻 10 号、28-32 頁、2008 年、査読有
- ② 水野紀子、生殖補助医療と子の権利、法律時報、998 号、31-36 頁、2007 年、査読有
- ③ 早川眞一郎、外国判決の承認における公序要件—外国人代理母が出産した子につき、代理出産を依頼した日本人夫婦が実子としての出生届をすることは認められるか (判例評釈)、判例タイムズ、1225 号、58-75 頁、2007 年、査読有
- ④ 米村滋人、医学研究における被験者意思と倫理委員会—生体試料提供の諸問題に着目して、ジュリスト、1139 号、11-17 頁、2007 年、査読有

[図書] (計 39 件)

- ① 水野紀子、河上正二、有斐閣、(能見善久・瀬川信久・佐藤岩昭・森田修編)『民法学における法と政策 (平井宜雄先生古稀記念論文集)』、2007 年、総頁 808 頁、水野 745-769 頁、河上 593-615 頁